

令和4年度すくすくウォッチの結果について

錦秋の候、保護者のみなさまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育のためにご支援ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、4月22日(金)に実施しました、令和4年度すくすくウォッチの結果について分析(成果と課題)及び取組みをご報告させていただきます。

《基本的な考え方》

すくすくウォッチは、子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とし、子どもたちに各教科の学力に加え、言葉の力や文章や情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われる粘り強さや好奇心などを育む、大阪府としての取組みです

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

○子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ること、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。

○学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。

《調査結果の取扱い》

◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。

◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取組みを進めていきます。

《お願い》

□学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子さまの伸びや課題を知り、まずはお子さまの良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張って克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子さまの学習意欲を高めることにつながります。

□学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。

□調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。

すくすくウォッチについて

○国語

概要
本校の平均正答率は、府平均より 3.7 ポイント上回っていた。基礎的な問題が多く、確実に解答できていた。
特に成果が見られた問題例
8(2) 示された文の構造や、情報と情報の関係を理解して文の内容を正しく捉える選択問題。
特に課題が見られた問題例
4(2) ローマ字を書く問題。パソコンのローマ字入力ができる子ども多いが、ローマ字を正しく書くことは難しい。

○算数

概要
本校の平均正答率は、府平均より 3.7ポイント上回っていた。特に数と計算の領域で成果が見られた。一方で、正答率が高い問題でも、無回答が目立った。
特に成果が見られた問題例
2(2) 2つの数量の関係を式で表す短文問題。授業で、立式の過程を説明する練習をしてきている成果。
特に課題が見られた問題例
1(2) 所要時間を計算し、必要な時刻を求める問題。時間を逆算して考えられていない。

○理科

概要
本校の平均正答率は、府平均より 4.7ポイント上回っていた。興味を持って学習に取り組んでいることもあり、基礎的な内容はほぼ習熟できている。
特に成果が見られた問題例
1(4) 導線のつなぎ方を図で表現する短文問題。練習やテストで同じ問題が出ていたので、定着できていた。
特に課題が見られた問題例
2(5) 結露について、日常生活と関連づけて理解する問題。蒸発と勘違いして答えてしまっている児童がいた。

○すくすくウォッチ（教科横断的な問題わくわく問題）

概要

本校の平均正答率は、府平均より6.4ポイント上回っていた。一方で記述問題では無回答が目立った。

特に成果が見られた問題例

- ③(2) 全校集会で伝える言葉を考える問題。府より13.8ポイント高い。身近なことが議題になっているため、考えやすかった。委員会活動など普段から呼びかけるような活動があり、慣れてきている。

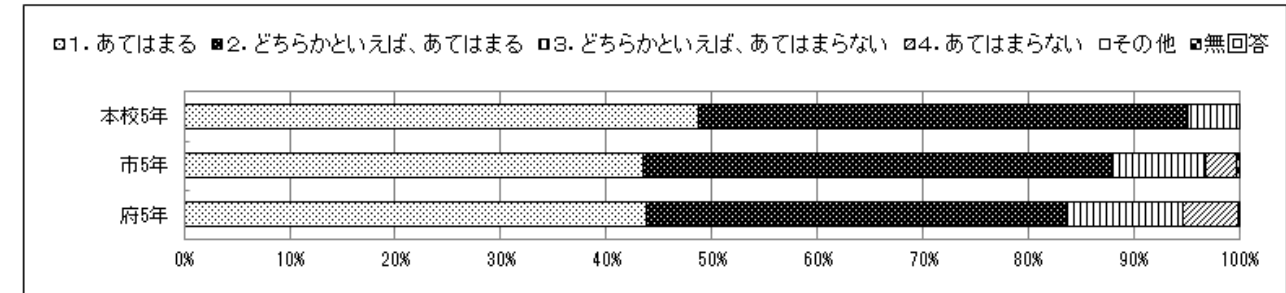
特に課題が見られた問題例

- ①(2) 資料をもとに、新聞記事の続きを書く問題。2つの条件のうち、1つしか満たしていない割合が高い。

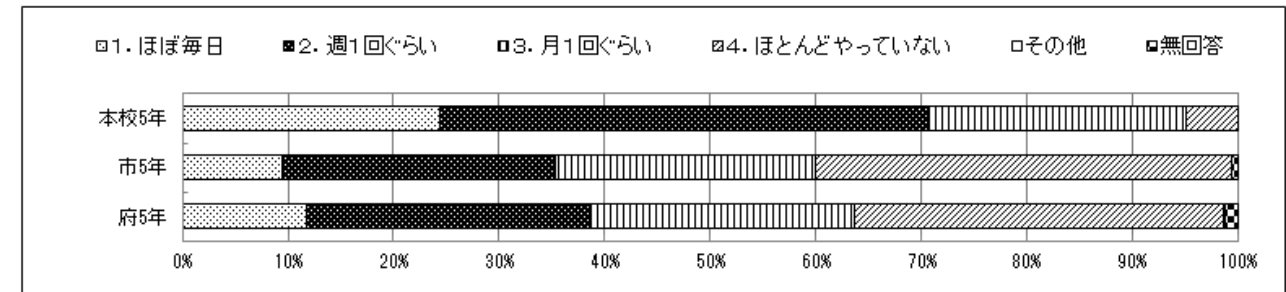
○児童アンケート（大阪府の結果と比較して本校の児童の傾向を考察）

◎特に成果が見られたアンケート項目例

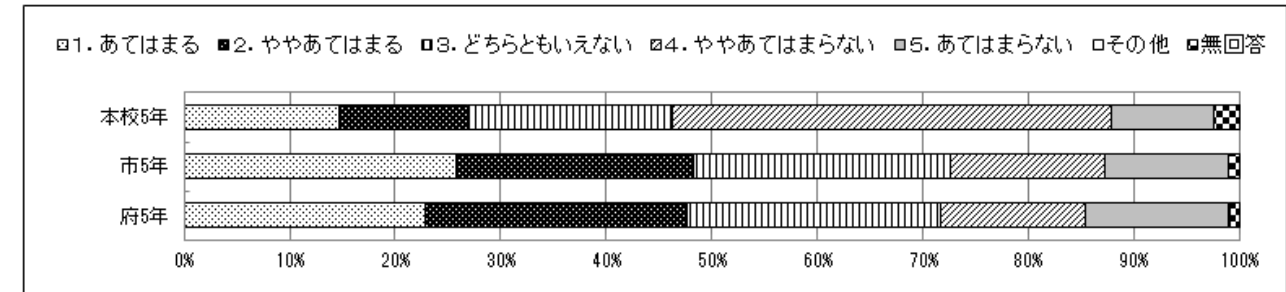
質問番号	質問事項													府県アンケート平均
1	「自分にはよいところがある」と思う													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
本校5年	48.8	46.3	4.9	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0
市5年	43.4	44.4	8.9	2.9	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.3
府5年	43.8	39.9	11.0	5.1	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.2



質問番号	質問事項													府県アンケート平均
53	授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか													46
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
本校5年	24.4	46.3	24.4	4.9	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0
市5年	9.4	26.0	24.7	39.4	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.6
府5年	11.8	26.9	24.9	35.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	1.2

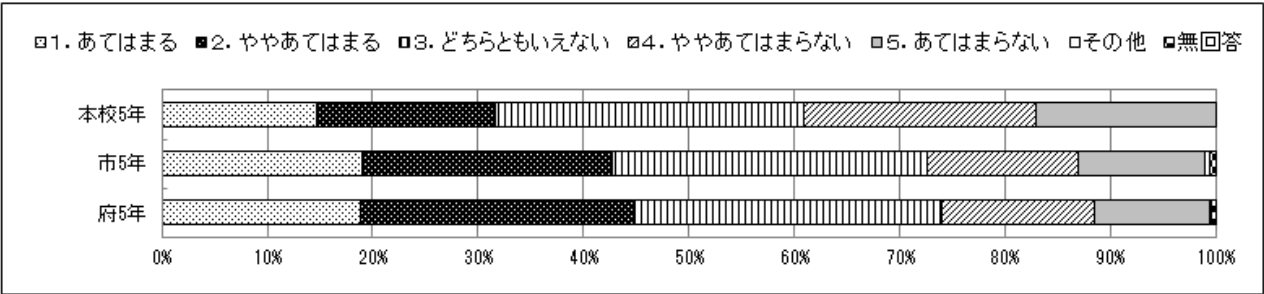


質問番号	質問事項													府県アンケート平均
17	イライラを感じるときは、考え方を覚えて落ち着いていられるようにする													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
本校5年	14.6	12.2	19.5	41.5	9.8	—	—	—	—	—	—	—	0.0	2.4
市5年	25.8	22.4	24.4	14.6	11.7	—	—	—	—	—	—	—	0.1	1.0
府5年	22.8	24.9	24.0	13.7	13.5	—	—	—	—	—	—	—	0.2	0.9



▲特に課題が見られたアンケート

質問番号	質問事項													調査アンケート集計
25	予期しない出来事が起きたとき、原因がわかるまで調べる													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
本校5年	14.6	17.1	29.3	22.0	17.1	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0
市5年	19.0	23.7	29.9	14.4	12.0	—	—	—	—	—	—	—	0.4	0.6
府5年	18.9	25.9	29.2	14.4	11.0	—	—	—	—	—	—	—	0.2	0.4



児童アンケートについて

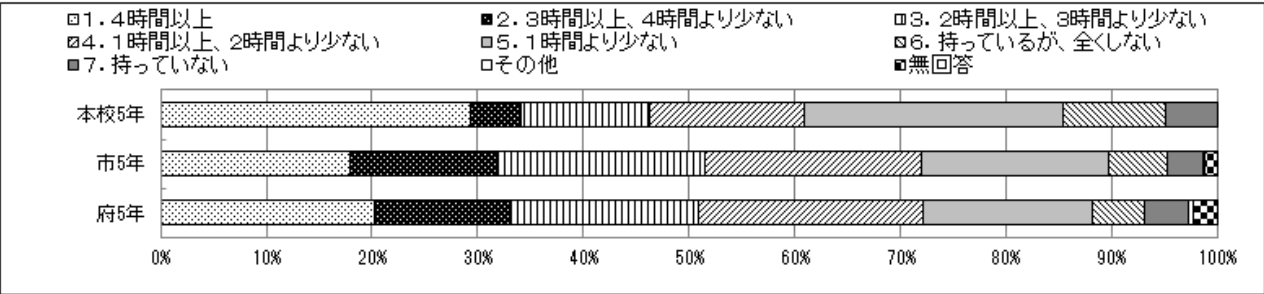
南花台中学校区の子どもたちの課題の1つとして、自尊感情の低さが特徴としてあげられてきた。しかし、(1)では、95.1%の児童が肯定的な回答をしており、府から比べても11.4ポイント高かった。自己肯定感が非常に高い学年団と言える。また、(53)のように、ICTを多く活用し、活用能力も高まってきている。

一方で、(17)や(25)のように、根気強く柔軟に対応することは苦手な児童が多い。とことん突き詰めて調べたり挑戦したりする経験をしてほしい。

また、家庭生活に関わる部分では、学年の中でも基本的な生活習慣には差があることが分かった。

参考資料

質問番号	質問事項													調査アンケート集計
68	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれぐらいの時間、学習以外(ゲームやSNS等)にスマートフォンやタブレット等を使っていますか													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
本校5年	29.3	4.9	12.2	14.6	24.4	9.8	4.9	—	—	—	—	—	0.0	0.0
市5年	17.9	14.0	19.6	20.5	17.7	5.5	3.5	—	—	—	—	—	0.1	1.2
府5年	20.2	12.8	17.9	21.3	16.1	4.9	4.2	—	—	—	—	—	0.4	2.3



学校が重点的に取り組んでいくこと

以上のような分析をふまえ、以下のような取組みを進めていきます。

○学ぶ意欲をはぐくむ授業づくり

- ・友だちと意見を交流して考えを深める授業。
- ・条件に沿ってまとめて記述する練習。(要約、作文、ふりかえりなど)
- ・問題文を読み取る工夫。(文や図表などの大事なところに印)
- ・算数科においては、見通し、検算を大事にしていく。
- ・ローマ字を書く練習。

○自己肯定感と自己有用感を高める取組みをさらに続けます。

- ①「自らを意欲的に学ぶ力の育成」
 - ・タブレットを活用した授業の研究を進めます。
 - ・自主学習の推奨と子どもの評価活動により意欲を喚起します。
- ②リーダーシップの育成
 - ・わくわくまつり等、児童が主体的に企画・運営できる行事を行います。
 - ・異学年集団を活用してのリーダーシップの育成に努めます。
- ③他者への貢献力の育成
 - ・高学年の児童による下級性への貢献の機会を増やしていきます。
 - ・地域の方の協力への感謝と交流の機会を増やしていきます。

児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

○工夫しながら問題に取り組もう。

問題を読むときには、大切なことを落とさないように印をつけながら読むようにしましょう。答えがどれくらいになるか見通しを持ちましょう。また、ケアレスミスが多いので、見直しをして確かめましょう。

○時間を意識しよう。

時間を逆算して考えたり、「何分後は何時」などを考えたり、生活のなかで時間の感覚を養っていけるようにしましょう。

○人とコミュニケーションをとろう。

自分の思っていることは言葉で表し、人の意見や話は最後までしっかり聞きましょう。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

○基本的な生活習慣

子どもたちが、朝ごはんや睡眠時間、学習時間など家庭での基本的な生活習慣を守れるよう引き続きご協力をお願いします。

○たくさん褒めて認めてあげてください。

家で褒めてもらっている子どもたちが多くいました。引き続き学習面の結果だけでなく、学習の過程や生活の中でもたくさん褒めてあげてください。

○一緒に過ごす時間を大事にしてください。

家の人と一緒に遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりしている子どもも多くいました。家が安心できる場所であることで、子どもたちは学校や社会で様々なことに思いっきり挑戦していくことができます。日頃からのサポートありがとうございます。これからもご協力をよろしくお願いいたします。